

# 地域・社会課題の解決に向けた今後の特区の取組

## — 「デジタル田園健康特区」の取組の横展開 —

「世界で一番ビジネスが  
しやすい環境」の構築

- 少子化・高齢化、人手不足、過疎化など、厳しさを増す経済社会環境の中で、デジタル技術を活用し、こども・教育、医療・介護・障害者、交通・観光等、**地域・社会課題を解決していくことが急務**。
- 現在、健康・医療分野において、石川県加賀市・長野県茅野市・岡山県吉備中央町の3市町が連携して「**デジタル田園健康特区**」の取組を進めており、当該取組は、健康・医療分野での**地域課題解決に貢献**している。
- このため、「**デジタル田園健康特区**」の取組を横展開し、その**成果の全国展開**を進めるとともに、人手不足、過疎化が進む中、**健康・医療分野以外にも地域が抱える深刻な課題に対応**できるよう取り組んでいく。

### 現在の取組

#### <デジタル田園健康特区>

3自治体が連携し、デジタル技術を活用しつつ、**健康・医療の課題解決**に重点的に取り組む。

石川県加賀市



岡山県吉備中央町

長野県茅野市

#### <取組>

- 救急医療等におけるタスクシフトの進展（救急救命士・看護師の役割拡大）
- 健康情報を活用した医療サービスの向上（“医療版”情報銀行）
- 地域交通手段を活用した医薬品の効率的配送等、アーキテクト（構想全体を企画する人材）の実行力により、多くのアイデアが提案され、改革を実現

健康・医療分野の課題解決に貢献

※デジタル田園健康特区は、スーパーシティと並び、デジタル田園都市国家構想の「先導役」との位置づけ

### 現行の「デジタル田園健康特区」の取組を横展開

#### ①「デジタル田園健康特区」の取組で得られた成果の横展開

- ・規制の特例措置の全国展開の加速化
- ・特区の取組・実践（プラクティス）の自治体間共有（周知・フォーラムの開催、サービス導入手順書の作成等）

#### ②人手不足、過疎化が進む中、健康・医療分野以外にも地域が抱える深刻な課題に対応

⇒ 地域の暮らしを支えるサービス分野  
（例：こども・教育、介護・福祉、交通・観光）

※デジタル技術を活用した自治体間連携による新たな特区の取組を「**地域課題解決連携特区（通称：連携“絆”特区）**」として発掘・支援

※デジタル田園健康特区同様、アーキテクトを中核に、大学等の幅広い地域関係者が連携した体制を構築

#### ③財政的支援の強化

特区における規制・制度改革を踏まえた新たな取組を後押しするため、デジ田交付金等を活用

デジタル技術を活用した  
自治体間連携の加速化

先端デジタルサービス等の活用を  
通じた地域・社会課題の解決